

## 第11期 第6回平井川流域連絡会 議事要旨

- 日 時：令和7年2月13日（木）14：00～16：00
- 会 場：あきる野ルピア3階 ルピア集会室
- 出席者：公募委員及び公募団体委員 4名 / 行政委員 7名（うち2名代理者出席）
- 配布資料
  - 資料1 平井川流域連絡会（第11期）の活動報告
  - 資料2 平井川 羽生橋下流付近 現地調査結果（R7.1.23 調査）  
第5回平井川流域連絡会議事要旨（案）

### ■ 議 事

#### 1. 開 会

事務局より開会の挨拶、座長より挨拶

### ■ 議 題・報 告

#### 2. 第11期の活動報告

事務局より資料1に基づき、「第11期の活動報告」の説明。

- ・令和4年2月4日の第1回全体会で、二つの活動方針『平井川らしさ』を大切に、安全で自然を生かした地域に息づく親しめる川とするため、都民と行政が、共通認識に基づき協働・連携して川づくりを進める。」「平井川らしさの妨げとなる外来種の対策を継続する。」を定めた。
- ・令和3年度は、令和4年2月4日に第1回全体会を、新型コロナウイルス感染症の影響で対面とオンラインの併用で開催した。
- ・令和4年度は、外来種オオブタクサ対策として令和4年7月29日に瀬戸岡御堂橋上流右岸で抜き取り・刈り取り作業を実施し、令和4年11月22日に第2回全体会を開催した。
- ・令和5年度も、外来種オオブタクサの対策として令和5年5月25日に抜き取り作業、令和5年7月22日に抜き取り・刈り取り作業を瀬戸岡御堂橋上流右岸で実施し、令和5年7月12日に第1回現場視察会、令和5年11月14日に第3回全体会、令和6年2月16日に第4回全体会を開催した。
- ・令和6年度も、外来種オオブタクサの対策として令和6年6月8日に瀬戸岡御堂橋上流右岸で抜き取り作業を実施し、令和6年11月26日に第5回全体会を開催し、本日、第6回全体会を迎えた。
- ・活動報告をパンフレット形式にまとめ、裏面には活動内容・議事内容などを掲載している。ご意見や修正事項などがあれば、今月末を目途に事務局あてにメールまたは電話などでご連絡いただきたい。

### 3. 羽生橋周辺の状況について

事務局より資料2に基づき「羽生橋周辺の状況について」の説明。

- ・第5回全体会で、羽生橋下流で化石収集を目的に石が叩き割られ景観が悪化しているという報告があったので、事務局として現場の状況を確認した。
- ・羽生橋は、日の出町大字大久野に架かる日の出町が管理する橋で、下流に諏訪下橋、上流に秋川街道の堀口橋が架かっている。下段の写真は、羽生橋の上から下流を見た景観で、かなり木が生い茂っている。
- ・3/8の写真は羽生橋下流左岸側を写したもので、切り立った護岸があり、一般人が川へ出入りすることができないような状況。4/8と5/8の写真は羽生橋下流右岸側を写したもので、橋の際のガードレールがなくなった辺りから、一人一人が通れるくらいのけもの道のようなものが確認され、この辺りから出入りしていたのではないかと思われた。
- ・6/8と7/8が川の中の状況で、羽生橋から下流200mくらいの区間で断続的に、小規模ではあるが石が割られていたり、ゴミが捨てられていたりというような状況が確認された。
- ・河川を管理している西多摩建設事務所の対応として、看板の設置も考えたが、逆に目立って人が集まり自然が破壊されるなど逆効果になる恐れがあり、当面は継続して監視を行っていきたいと思っている。さらにエスカレートするような状況が確認された場合、改めて何らかの対策をしていかなければならないと考えている。

#### ○ 質疑応答

- ・8/8の写真は入口のところだが、少し曲がって奥が見えないという風景が続くが、ところどころ奥行きがあったり変化するところで、入った時に、はっとするような美しさがあったと思う。どうしたらいいのか私も案はないが、日の出町の素晴らしい景観・環境なので、ぜひ残したいところだと思っている。(公募委員)
- ・石を割られたのは、この2箇所以外にはなかったのか。(公募委員)
- ・わずかだったり目立たないところもあるが、もう少しあった。きれいな環境で苔が生えているのだが、苔がなく石が露出しているというところが、2箇所だけではなく、もう少しところどころに見えた。(事務局)
- ・看板等について、SNSなど想定しえなかったところで急に話題になって、人が押し寄せてしまうというリスクもあるので、そういったことも踏まえての対応とさせていただく。新潟の糸魚川が翡翠の産地ということで、川に下りて翡翠を持って行くという記事が新聞に出ていたが、大規模に川を浚うことなどは当然禁止されているが、河川の自由使用という考え方があり、小規模なものを河川法の枠で規制するというのはなかなか難しいところもあって、全国各地にこういった似たような事例があり、どこも対応に苦慮しているという状況だ。今後とも、我々の方で責任を持って見ていきたいと思う。(座長)
- ・やはり看板を立てるのは慎重になった方がいいという気がする。以前、平井川の南小宮橋の下流のところにクララというかなり希少な植物が自生していて、「大切な植物ですので刈らないでください」と囲ったら、あっという間に持って行かれてしまった

ということがあって、なかなか難しいと思う。(公募委員)

#### 4. その他

##### (1) 第12期市民委員の募集について

事務局より第12期の市民委員募集についての説明。

- ・本日で第11期の活動は終了となるが、引き続き平井川に関わる情報の公開や意見の交換、提案の場として、平井川流域連絡会を継続していきたいと考えている。
- ・第12期の開催に向け、改めて市民委員の募集を予定している。応募要領等は現在調整中だが、第11期と大きく変わらないものとなる予定で、5月頃発行の「広報あきる野」「広報日の出」に掲載させていただくことを考えている。

##### ○ 質疑応答

- ・第11期にご参加、ご協力いただいたみなさまには、ぜひ再度ご応募いただき、地域に親しめる川となるよう、流域連絡会の活動にご協力いただきたいと考えている。平井川の整備も、上流に向かい日の出町に入って行くが、平井川の環境や整備に興味をお持ちの方、ご近所等にも声をかけてお誘いいただければと思うので、よろしくお願ひします。(座長)
- ・以前の応募要領の中身を忘れてしまったのだが、年に何回くらいやるとか、交通費は出ないとか、あと400字程度の作文を書くとか。(公募委員)
- ・前は、応募の動機等400字程度の作文をお願いしていて、同じような形になるかと思っている。(事務局)
- ・前回か前々回か忘れたが、公民館や公共施設にチラシを置いたような記憶がある。募集要項だけだとイメージが掴めないなので、この「第11期の主な活動」みたいなものとセットでチラシを作って、公民館や公共施設に置いてもらうとか、送っていただければ渡すこともできる。なるべく新しい方にも入っていただきたいので、ぜひ考えていただきたい。(公募委員)
- ・これから日の出町の部分で工事が始まるから、なるべく日の出町の人に重点的に声をかけて、地域の声を反映できるように、また日の出町の努力もお願いしたい。我々は、下流の方はわかるが、岩井橋から奥の方になると年に1度行くか行かないかくらいなので、その辺のことがわかる人に携わっていただくといい。都市計画の河川ということで作業が進められているが、護岸についても、石積み等をしなくてはいけないから、掘削とか崩さなければいけないような状況も出ると思うが、地域の方が納得できるような動きをした方がいいと思うので、ぜひお願いしたい。(公募委員)
- ・地域住民の方に、こういう会があって、いろいろな情報が得られるし意見も言えるということを伝えていただきたい。日の出町にも、平井川を使ったいろいろな活動をされている団体がいくつかあるのか、「川原で遊ぼう会」は常時平井川だが、いろいろなところをフィールドにしながら、たまに平井川に行くという親子の会とかがあるのか、そういった方たちにも、ぜひ参加していただけると嬉しいと思うので、日の出町と協力して広報に努めていただければと思う。(公募委員)

- ・新たに公募委員を募集するということが、何人くらいを目途に募集する予定なのか。  
(公募委員)
- ・人数的には今と同じ程度か、かなり多く応募があるようであれば、それを考慮しながらと考えていて、確実に何名という形では決まっていない。(座長)

## (2) 来年度以降の工事について

### ○ 質疑応答

- ・来年度の工事について、どの区間がいつくらいということ、もう1回教えていただきたい。(公募委員)
- ・日の出橋まで工事が終わっている、日の出橋と東平井橋の間の護岸工事を来年度の渇水期に施工することを考えている。右岸・左岸どちらからやるか、搬入路をどこにするかなどは現在検討中。(事務局)
- ・具体的には何月くらいか。(公募委員)
- ・10月、11月ぐらいに契約して工事に入れればと考えているが、搬入路も地域住民の方と調整してというところもあるので、それを踏まえながら実施していきたい。(事務局)
- ・東平井橋はまだ先か。予定どおりいったとして何年になるのか。(公募委員)
- ・東平井橋の架け替え工事は護岸工事が終わった後になる。令和7～8年度で右岸を実施した場合、令和8～9年度で左岸、東平井橋はそれ以降になる見込みである。(事務局)

## (3) 第11期公募委員の挨拶

- ・平井川流域連絡会に委員として、長い間参加させてもらって、本当にありがとうございました。あきる野市部分が終わるので、今日で終わりにしようと思うので、とりあえず発言をさせてもらいたい。平成29年に平井川整備工事に伴い、ポンプ小屋を作ってもらった(以下、整備工事で設置したポンプに関する説明)。長いことお世話になったが、ここで退任したいと思っている。400字詰め原稿を書けというはつらい。口では言えるが文才がないので、毎年同じことを書いてはいけなくて、少し考えながら何回か書いたが、400字詰め文章を書けというのは私自身つらかったから、つらい人もいると思うので、「やりたい人はどうぞ」という感じの方がいいのかなと思って。余計なことを言って、時間を取らせてしまってすみません。ありがとうございました。(公募委員)
- ・初めて人から「こういうのがあるよ」と紹介されて入った。あまり活躍できなかったが、健康的にはまだ大丈夫なので、もう1期くらいやってもいいかなという感じはしている。400字書くのはちょっとという感じだが、オオブタクサも気になるし、あともう1期はやらせていただければという感じはしている。(公募委員)
- ・平井川流域連絡会が立ち上がった時からずっと委員をやらせていただいていた、「川原で遊ぼう会」の活動が続く限りは参加させていただきたいと思う。気候変動で、かなり平井川の様子も変わってきて、生き物とかいろいろな意味で少し心配かなということと、西多摩建設事務所と保全のことなど情報交換をしながらやれてきたのは、この会があったからと感謝している。これから上流になって、「川原で遊ぼう会」のフィー

ルドとは外れてしまうが、川は繋がっていて、上流がどうなっていくのかというのはとても大事なことなので、これからもできる限り参加させていただきたいと思っている。去年7月、ものすごく暑い中で現地視察をしたが、すごく良かったと思っている。会議の場で話すことも大事だが、一緒に現地を歩くということも、すごく重要だと思うので、来期もまた、ぜひ早い時期に、新しい委員も含めて現地視察を企画していただけたらと思う。今後とも、よろしく願います。(公募委員)

- ・私は2期お世話になったのだが、私も推薦したいと思うので、ぜひ新しい人を。日の出町に工事自体も移っていくので、私も日の出町だが、やはり地元の人で応しい人がいたら、ぜひお願いしたいと思っているので、よろしく願います。(公募委員)

## 5. 閉 会

事務局より閉会の宣言

(了)